

レインウェアの耐水圧と透湿性



耐水圧とは

「耐水圧」とは、**生地にしみこもうとする水の力を抑える性能数値。レインウェアの生地が、どれくらいの水圧に対して耐えられる防水性を持っているか**を表します。

例えば、耐水圧20,000mmであれば、生地の上に1cm四方の柱を立て、柱の中に水を入れて20,000mm(20m)までの高さに入れた水の水圧に耐えられるということになります。(JIS規格)

一般的な目安は、下記のようになります。

20,000mm	---	嵐
10,000mm	---	大雨
2,000mm	---	中雨
300mm	---	小雨

- 傘の耐水圧:250mm程度
- 体重75kgの人が濡れた場所に座った時の圧力、約2,000mm
- 濡れた場所へ膝まずいている時の圧力、約11,000mm

一般的にレインウェアを選ぶ目安として、小雨や小雪を凌ぐ程度であれば5,000mm、スキーやゴルフは雨、雪にさらされるので最低10,000mm以上、登山などは命にかかわるので最低でも20,000mm以上が必要と言われているそうです。上記の数値は初期の耐水圧ですので、繰り返しの洗濯や使用時の摩擦によって機能は少しずつ低下しますので、永久ではありません。

透湿性とは？

「透湿度」とは、生地1 m²あたり、24時間で何gの水分を透過した(外に出す)かを示した数値。**衣服内の水滴にならない蒸気状態の汗を、生地が透過させる(外に出す)**度合いを表します。例えば、透湿度20,000g/m²/24hであれば、1日(24h)で1平方メートルあたり、20,000g(20kg)の水蒸気の汗を透過する(外に出す)能力があるということになります。

一般的な発汗量の目安(体質や季節によって異なります)

大人安静時で1時間あたり:約50g

軽い運動で1時間あたり :約500g

ランニング等の激しい運動で1時間あたり:約1,000g

●透湿度の目安

蒸れにくさ:最低でも5,000g以上、できれば8,000g以上

ベトベトなりにくさ:最低でも10,000g以上、できれば
20,000g以上

上記の数値は初期の透湿度ですので、繰り返しの洗濯や使用時の摩擦によって機能は少しずつ低下しますので、永久ではありません。

ブリジストンスポーツHPより

